

2021年 1月 6日

2020年度「多摩地域市民活動公募助成」助成事業実施報告書

団体名 NPO 法人子どもネット“八王子”

代表者・役職名 氏名 理事長 板垣美保子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真的肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

2020年 電話の受け手ボランティア募集 「子どもの電話受け手養成講座」

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。 会員数など。180文字程度まで)

地域のつながりの希薄さが問題化する中、子ども達や子育て中の親たちのサポートができないかと 2001 年に団体を立ち上げ、チャイルドライン加盟団体として子どもの声を聴き、寄り添う活動をしています。
現在の会員数は37名です。幼稚園などで「AP 講座」という子育て講座を開催し、2009 年より「地域子ども家庭支援センター親子ふれあい広場」の運営を市から委託され、積極的に取り組んでいます。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

いじめ、虐待、自殺など、子ども達を取り巻く問題はなくなりません。特に「新型コロナ」の影響は子ども達の生活全般に及び、学校でも家庭でもストレスを抱えている状況となっています。
チャイルドラインの活動は、子どもたちが気持ちを言葉にし、それを受け止めることで力を回復し、新たな一步に向かうエンパワメント効果が期待できます。その電話の受け手を養成することが第一の目的です。また、子育てを地域や社会が支えていくことが欠かせない事から、子どもに关心を持ち、温かく見守ることのできる大人を増やすことも目的とします。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

「子どもの電話の受け手養成講座」全10回 募集人数20名

時間: 日曜日14:00~16:00

会場: 八王子労政会館、八王子市市民センター他

内容: ①生きづらさを抱えた子供たち ②自分を知る、違いを知る ③「今」を生きる子どもたち ④子どもの声を活かしたまちづくりを求めて ⑤遊び場は奪われた! ⑥子どもに「性」を教えられますか?・不登校の歴史と今 ⑦親や兄弟を亡くした子どもたちへ ⑧~⑨ロールプレイ ⑩電話に出るにあたって

※添付資料参照

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの「効果」 300文字程度まで

・10回にわたる連続講座で、21名、延べ167名の参加がありました。

・発達障害、子どもの権利、居場所、遺児など、多岐にわたるテーマに取り組むことで、様々な子どもたちがいることをあらためて実感することができました。

・演習を通して自己と向き合い、また、グループワークではコミュニケーションについて学ぶことができました。

・生きづらさを抱える子どもたちに寄り添うチャイルドラインの電話受け手ボランティアを新たに確保し、今後の活動につなげることができました。また、子育て中の方や当団体の「親子ふれあい広場」スタッフにとっても、子どもや親子への理解を深める学びの場となりました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今回は多くの問い合わせをいただきました。コロナ禍で、各会場が定員を半分程度に絞ったため、全ての人を受け入れることができず残念でした。また、会場の確保にも苦労しました。

状況により、オンラインにする準備もしましたが、演習を効果的に行うことができるよう、なるべく対面での実施を目指しました。結果的に最後まで予定通り行うことができ、受け手を増やすことができました。

コロナ禍においても、子どもたちの声を聴き続けるにはマンパワーが不可欠です。人材を大事に育成し、子どもたちの声を聴き続けていきたいと思います。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり • 特になし

2020年

電話の受け手

傾聴ボランティア
募集

チャイルドラインは、18歳までの子どものための電話です。
人間関係、コロナ禍、将来の自分など、多くの不安の中を生きる子どもたち。一人で抱えた悩みも、誰かに話することで気持ちが楽になったり、自ら解決策が見つけられたりします。
子どもの声に耳を傾け、寄り添い、支えるために、全10回の養成講座を計画しました。
一緒に活動してくださる方、子育てに悩む方、子どもたちに関わる方、どうぞご参加ください。未来を担う子どもたちに、私たち大人は何ができるのか?共に考え、学びましょう。

日 時

養成講座

10月4日（日）～12月6日（日）

会場 / 八王子労政会館、生涯学習センター学習室 他

内 容

10/4 生きづらさを抱えた子どもたち

10/11 自分を知る、違いを知る

10/18 「今」を生きる子どもたち

10/24 子どもの権利条約 他

全10回

(Zoomによる講義もあり)

参 加 費

全期 6,000円 学生 5,000円
一回 700円

後援 八王子市教育委員会

申込み
問い合わせ

NPO法人 子どもネット“八王子”

e-mail : kodomonet_hachioji@yahoo.co.jp

TEL : 042-648-0548 (米持)

電話の受け手 傾聴ボランティア養成講座 日程表

	日時	講座の内容	講師	会場
1	10/4 (日) 14:00~16:00	生きづらさを抱えた子どもたち 発達障害と ABA 療育	増島由理さん(児童発達支援、放課後等デイサービスわらあう代表)	八王子労政会館 第4会議室
2	10/11 (日) 14:00~16:00	自分を知る、違いを知る	古川 幸さん(八王子市人権擁護委員、臨床心理士)	八王子労政会館 第4会議室
3	10/18 (日) 14:30~16:30	「今」を生きる子どもたち チャイルドラインに何ができるか	天野秀昭さん(NPO法人『園庭・園外での野育を推進する会』理事長)	子安市民センター 会議室
4	10/24 (土) 13:00~14:20	【CL 東京合同研修】 子どもの声を活かしたまちづくり を求めて～子どもの権利条約と CL	喜多明人さん (早稲田大学名誉教授)	Zoom ※2 スイセン会議室
5	11/8 (日) 13:00~14:20	【CL 東京合同研修】 子どもに「性」を教えられますか？	安達倭雅子さん (電話相談員)	Zoom ※2 学園都市センター 第2セミナー室
6※	10/24 (土) 14:30~16:00	【CL 東京合同研修】 遊び場は奪われた！遊びが子どもの心と体を整える	嶋村仁志さん (一般社団法人 TOKYO PLAY 代表理事)	Zoom ※2
6※	11/8 (日) 14:30~16:00	【CL 東京合同研修】 不登校を経験した私たちが見た 不登校の歴史と今	彦田来留未さん他2名 (東京シューレサポートスタッフ)	Zoom ※2
7	11/15 (日) 14:00~16:00	親や兄弟を亡くした子供たちへ	杉本脩子さん(NPO法人グリーフ サポートリンク代表)	北野市民センター カルチャー室
8	11/29 (日) 12:00~13:30	ロールプレイ (1)	古川 幸さん	八王子労政会館 第4会議室
9	11/29 (日) 14:00~16:00	ロールプレイ (2)	古川 幸さん	八王子労政会館 第4会議室
10	12/6 (日) 14:00~16:00	電話に出るにあたって	子どもの電話スタッフ	八王子労政会館 第6会議室
11		総まとめ リスニング		

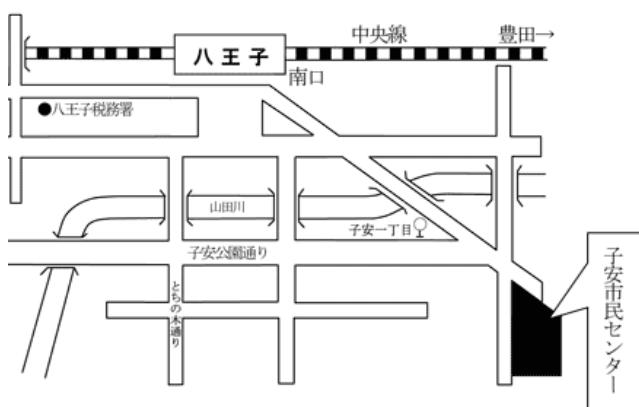
※ 6回目はいずれかの選択となります。
500円追加することで両方受講することもできます

※2 インターネット環境のない方は、会議室で受講
できます。

八王子市労政会館(明神町3-5-1)
クリエイトホール(東町5-6 11階)
学園都市センター(旭町9-1 オクトーレ12階)



子安市民センター(子安町2-6-1)





10月4日
「生きづらさを抱えた
子どもたち
～発達障害とABA療育」

於：八王子労政会館



11月15日
「親や兄弟亡くした
子どもたちへ」

於：北野市民センター



11月29日
「ロールプレイ」

於：八王子労政会館